DX Acceleration Local Lab
北九州市DX推進ラボ

属人化した社内業務をDX化で業務改善
生産現場と管理部門をIoT技術で連携

旧基幹システムからERPへの移行及び PLM･MES の導入によるスマートファクトリー化プロジェクト

HSK 平川産業株式会社

事業内容

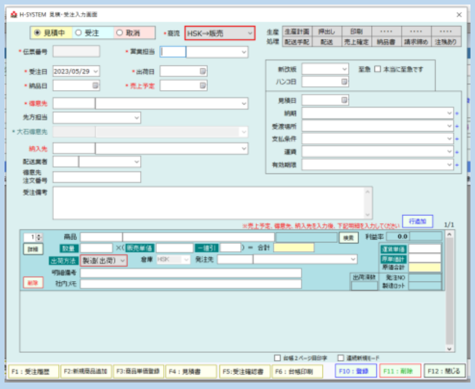
当社は肥料用ポリ袋の製造を行っている。従前の基幹システムは会計主体となっており、販売･製造部門にとっては非常に使いづらく、また重要数値が各人のEXCELファイルに分散し、属人化が進行していた。また製造部門との情報伝達には紙文書が多く、重要な原価計算に関わる使用部材の詳細を記した製品規格も紙文書であり、改善活動の大きな妨げになっていた。

この度これらの問題を解決する為に、規格台帳のデジタル化と販売管理システムを中心に据えたシステムを構築。受注業務の簡素化と製造部門への製造指示の伝達、材料の在庫確認が即時可能となった。これらの効果により見積回答、納期回答の速度も向上した。

肥料用ポリエチレン袋の製造販売

属人化した社内業務をDX化で業務改善

受注業務の効率化の為、各事務員が異なるやり方で行っていた受注業務をデジタル化。受注から製造･出荷･請求まで一括して管理。



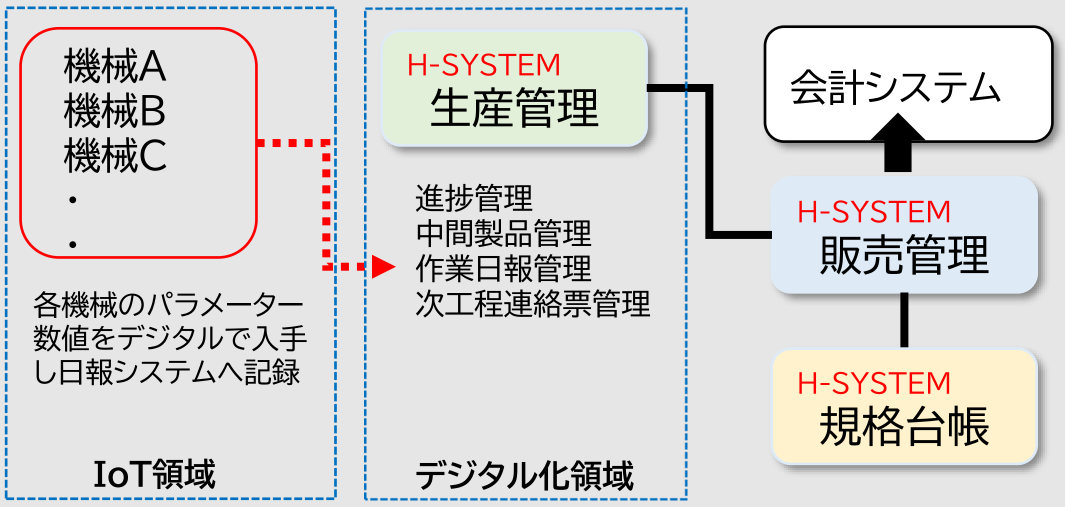
原価計算の元となる規格台帳（設計図）を紙からデジタル化。正確な原価把握と規格の把握が可能となった。

今後の展開

現場のIoT導入と生産管理システムの構築。IoTについては気温やヒーター設定温度、圧力、品質規格（フィルム厚み、幅）を自動計測し、デジタルの作業日報に記録する。監視の手間削減と異常の早期発見に期待する。

またデジタル記録により、詳細なトレーサビリティーが可能となり顧客信頼の獲得も期待できる。

今後の展開　生産現場と管理部門をIoT技術で連携



KitaQ DX デジタルで 快適・便利な 幸せなまちへ
公益財団法人北九州産業学術推進機構「DX推進補助金」採択事業